



# 日耳鼻医学会 FAX ニュース NO 144

平成20年9月30日 発行 (特)日本耳鼻咽喉科医学会 E-mail jimuj@jenti.or.jp HP http://www.jenti.or.jp  
〒104-0031 東京都中央区京橋2-11-8 全医協連会館5F FAX 03-5524-5228 TEL 03-5524-5230

## 『鳥取FORUM 2008 in 米子』

盛会のうちに終了

9月14日(日)15日(月)、鳥取県耳鼻咽喉科医学会(会長 阿部博章先生)が担当しての第33回日耳鼻医学会臨床家フォーラム(実行委員長 辻田哲朗先生)が全国各地より293名(会員196、家族・職員97)が参加して米子全日空ホテルで盛大に開催された。初日は3会場に別れて分科会があり、各会場盛況で活発な質疑がなされていた。分科会後の懇親会では鳥取島根両県の郷土芸能が披露され、また地元の日本酒、地ビールが振る舞われ、参加者ややかに懇親の場を楽しんでいた。



翌日の全体集會では「笑う顔には福来る」と題して鳥取大学教授の藤井輝明先生の公開講演があり参加者に多くの感動と感銘を与えていた。最後に東京都耳鼻科医学会会長の笠原行喜先生が来年のフォーラムの案内をして鳥取フォーラムは幕を閉じた。

## 『お 礼』

鳥取県耳鼻咽喉科医学会  
会長 阿部博章

会員の皆様、遠路はるばる山陰の地までお越し頂き有難うございました。鳥取県耳鼻咽喉科医学会会員を代表してお礼を申し上げます。

「明日役立つ知識」を持って帰って頂きましたでしょうか。今回、9月の連休に開催させて頂きましたのは比較的若い会員が診療を休む事を気兼ねせずに参加出来るようにという我々実行委員会の主張であります。皆様のお考えはどうでしょうか。

我が医会発足以来の大事業でありましたが、準備をすることによって会の結末が強くなり今後の医会活動に弾みがつきました。このことはフォーラムを開催することによって我々が得た最大の果実であると感謝しております。ありがとうございました。

## 新執行部の職務分担決まる

9月15日米子全日空ホテルで移動理事会が開催され、6月の代議員会総会で選任された新執行部の職務分担が以下のように決まった。

- 理事長 清水淑郎
- 副理事長 石山英一 鈴木 徹
- 事務局部門 所管 石山英一副理事長
- 庶務 江崎史朗(主) 坂口文雄(副)
- 広報 中村兼一(主) 江崎史朗(副)
- 会計 中澤 宏(主) 中村兼一(副)
- 生涯研修部門 所管 石山英一副理事長
- 日常診療 嶋田六郎(主) 盛 庸(副)
- 医事問題 東家倫夫(主) 河原秀明(副)
- 社会保険 河原秀明(主) 柴原義博(副)
- フォーラム 笠原行喜(主) 坂口文雄(副)
- 地域医療部門 所管 鈴木 徹副理事長
- 検診事業 菊池清文(主) 桧垣清高(副)
- 社会福祉 滝田孫一(主) 藤垣 熙(副)
- 医業経営部門 所管 鈴木 徹副理事長
- 医業経営 藤垣 熙(主) 嶋田六郎(副)
- レセプト調査 桧垣清高(主) 阿部博章(副)
- 情報処理 阿部博章(主) 中澤 宏(副)
- 監事 牛嶋申太郎 松浦健次郎
- 顧問 唐澤祥人(日本医師会会長) 西島英利(参議院議員) 関根唯和 本城好春 藤谷昭平

また今後の日耳鼻医学会の活動の活性と情報伝達の迅速化を計るために以下の委員会を設置した。

## 今後の会議日程

- 10月12日(日) 第3回全理事会
- 11月30日(日) 平成20年度第1回医学会協議会及び第4回全理事会
- 平成21年1月11日(日) 第5回全理事会
- 3月8日(日) 第6回全理事会
- 5月24日(日) 平成21年度第1回全理事会
- 6月21日(日) 平成21年度定時都道府県代議員会及び総会

## 自公連立の継続確認 新医療制度見直しで合意

麻生、太田氏が党首会談  
自民党の麻生太郎総裁と公明党の太田昭宏代表は23日夜、都内のホテルで会談し、後期高齢者医療制度の見直しなどを盛り込んだ基本政策で合意、連立政権継続を確認した。重点政策課題では、4月に導入された後期高齢者医療制度について「高齢者の心情に配慮し、法律に規定された5年後見直しを前倒しして、より良い制度に改善する」と明記。年金問題では、基礎年金の国庫負担割合を2009年度までに2分の1に引き上げることや、無年金・低年金対策の充実を挙げた。(m3.comメール)

## 先天性難聴に遺伝子診断

信州大病院(長野県松本市)は24日、先天性難聴の遺伝子診断を9月から始めたと発表した。同大によると、先天性難聴の遺伝子診断は国内初。遺伝子レベルで分析することにより、診断を受けた乳児の3、4割は難聴の原因を特定することができるようになる。症状の程度や糖尿病などの合併症も予測可能になるといふ。

信州大によると、先天性難聴は出生児1000人に1人程度の割合で起る疾患で、その半数以上は遺伝子が原因とされている。これまでは音を聞かせて脳波などで判定してきたが、原因を突き止めることは難しかった。

同大では全国から約4000人の難聴者の遺伝子を集めて解析し、日本人の難聴の原因となる遺伝子を特定した。

実際の診断では、生後5カ月ぐらいの乳児の血液を採取し、遺伝子変異の有無を調べる。これまで2人について遺伝子診断を実施した。

宇佐美真一教授(耳鼻咽喉科学)は「早期に難聴の原因を特定し、人工内耳や補聴器を使うことで、難聴の子どもの言葉を発達させることに役立てたい」と話している。

(9月24日 大分合同新聞)

プロスタグランジンD<sub>2</sub>-トロンボキサンA<sub>2</sub>受容体拮抗剤  
アレルギー性鼻炎治療剤

B

バイナス
錠
50mg  
75mg

ラマトロバン錠

**Baynas**® 薬価基準収載

指定医薬品、処方せん医薬品(注意-医師等の処方せんにより使用すること)

効能・効果、用法・用量、禁忌、使用上の注意等については、製品添付文書をご参照ください。

販売(資料請求先: 学術部)  
**日本新薬株式会社**  
〒601-8550 京都市南区吉野橋西1丁目10番14  
http://www.nippon-shinyaku.co.jp

製造販売元  
**バイエル薬品株式会社**  
大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001  
http://www.bayer.co.jp/byl  
(2008年8月作成)

情報収集・伝達委員会 会員増強委員会 将来  
計画委員会(仮称) 公益法人検討委員会 ネットワーク委員会